

株式会社 モリタ装芸

DX宣言書

2025年8月5日
株式会社 モリタ装芸
代表取締役 森田 順一

□ 経営方針

お客さま、社員、業者を大事にする経営で地域社会に貢献する
全てにサービス主義を徹底し、おもてなしの心を絶えず行動指針とする
絶えず研究熱心に技術と知識の向上に努める

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用して、情報の一元管理と部門間での円滑な連携体制を整えることで、属人化を防ぎ、課題に素早く対応できる組織をつくります
- ◆ 社員が主体的に業務改善に取り組むとともに、顧客との信頼関係を深め、選ばれ続ける会社を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2026年7月)

戦略 「情報の一元化と業務効率化に向けた土台づくり」

- 施策
- ・ 全社一体となったDX推進のため、DX推進チームを発足
 - ・ 事務作業の負担軽減と入力ミス削減のため、ANDPADを活用した請求・発注・原価管理のデジタル化を実施
 - ・ 部門間の情報共有をスムーズにするため、ANDPAD上で確認・承認業務の一元化を実施
 - ・ 経営判断の迅速化のために、原価・契約・受注状況等、経営データのリアルタイムでの可視化を実施
 - ・ ANDPADの活用を定着させるため、操作マニュアルの整備と社内説明会を実施
- ※ ANDPAD…建設現場の情報共有・業務効率化を支援するクラウド施工管理ツール

➤ フェーズ2(2026年8月 ～ 2027年7月)

戦略 「情報を活かす仕組みづくりと顧客対応力の強化」

- 施策
- ・ 部門間連携を強化し、重複作業やミスを防止するため、ANDPADを活用した工程・資料・進捗管理の運用を拡大
 - ・ 日々の業務改善を定着させるため、可視化された原価・契約・支払・実績データを用いた定期的な振り返り(課題の抽出や改善策の検討等)を実施
 - ・ 一元化されたデータを経営戦略に活かすため、KPIを基軸とした意思決定・目標管理サイクルを整備
 - ・ 営業活動の属人化を防ぎ、顧客対応の質を向上させるため、商談履歴・顧客属性に基づいた対応テンプレートを整備
 - ・ 顧客接点の強化に向けて、多様なチャネルを活用した情報発信の仕組みを導入

➤ フェーズ3(2027年8月 ～ 2028年7月)

戦略 「全社での継続的なDX推進」

- 施策
- ・ データを活用した営業活動の高度化に向けて、顧客属性に応じた対応テンプレートのブラッシュアップと運用サイクルの改善を実施
 - ・ 顧客満足度を高める仕組みづくりのため、アフターサービスや点検履歴をANDPADで一元管理
 - ・ 社員が主体的に改善提案を行える環境を整えるため、アイデアの募集・共有・表彰を実施
 - ・ DX推進リーダー育成に向けて、対象社員に対して実践型のデジタル研修を実施

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 紙の使用量削減率 : 2024年度比 50%(～2028年7月)